

ビーキャス B-CASカードの挿入

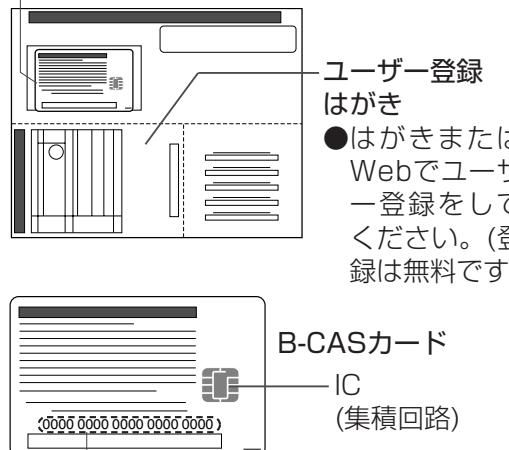
- カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- 「使用許諾契約款」を、よくお読みください。

BS/地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から原則として1回だけ録画可能のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■ B-CASカードについて

B-CASカード(添付)

- デジタル放送の視聴のために必要なカードです。



B-CASカード番号

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

■ B-CASカード取り扱い上の留意点

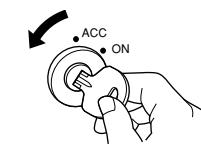
- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

■ B-CASカードについてのお問い合わせは

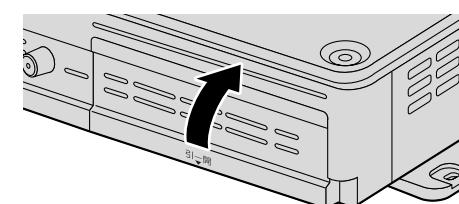
(株)ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

- カードの不具合と確認された場合は、お客様よりカスタマーセンターにお問い合わせ下さい。修理センターなどでカード交換を行なった際発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。

1 エンジンを切り、ACCオフにする

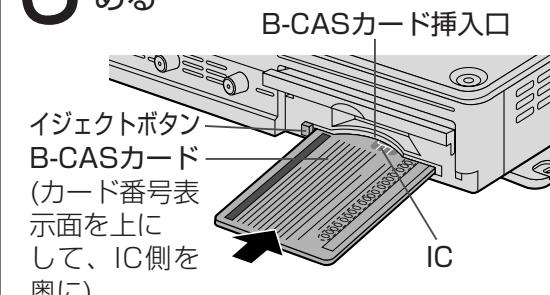


2 前面の扉を開ける



「▼」部の下の面を持ち上げます。

3 B-CASカードを挿入し、扉を閉める



- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■ B-CASカードのテストをするときは

(☞42ページ)

■ B-CASカードを抜くとき

- (1) エンジンを切る。(ACCオフ)
- (2) イジェクトボタンを押し、ゆっくりとB-CASカードを抜く。
- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。(☞78ページ)
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。(☞44ページ)

メニュー画面の操作と項目



●を押すと下記メニュー画面が出ます。
画面で確認しながら設定や放送メールなどの情報を見ることができます。

押して「情報／メール」「システム設定」を選ぶ

押して見たい情報や設定したい項目を選び
決定を押す

1つ前の画面に戻るときは戻るを押す

スライド扉を開く

■ 「情報／メール」メニュー

情報／メール	
	放送局一覧
	アンテナレベル
	放送メール
	B-CASカード
	ボード
	ID表示

- 現在登録されている地上デジタル放送の放送局を一覧で表示(☞42、43ページ)
- 受信しているアンテナのレベルを表示(☞42、43ページ)
- 放送局からのお知らせメールを表示(☞44ページ)
- B-CASカードの番号の表示とカードのテスト(☞44ページ)
- 110度CSデジタル放送から送られる情報を表示(☞45ページ)
- 本機に関する情報を表示(☞45ページ)

システム設定	
	チャンネル設定
	選局設定
	視聴制限設定
	受信設定
	地域設定
	接続テレビ設定
	デジタル音声設定
	個人情報消去

■ 「システム設定」メニュー

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定(☞24、25ページ)
- 受信モード自動切換設定と、選局の対象となる放送サービスを設定(☞34、35ページ)
- 視聴できる年齢を制限(☞32、33ページ)
- アンテナの受信状況を確認する(☞36、37ページ)
- データ放送で地域情報を受信するための設定(☞38、39ページ)
- 接続するテレビに合わせて設定(☞29~31ページ)
- デジタル音声出力の設定(☞40、41ページ)
- 本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報(メールなど)をすべて削除し、設定を工場出荷状態に戻す(☞38ページ)